

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスよよぎ		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 20日	~	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 10月 20日	~	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月 20日	~	2025年 11月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援終了後の当日中に保護者、放デイ担当指導員への情報共有を心がけており、すぐに支援に活かせる体制が整っている。	訪問支援員は「本児の様子」「支援の内容」「次回訪問予定日」を明確にした情報共有を行っています。 担当指導員に対しては「できていること、スキルアップしたこと」を伝えるようにしています。	引き続き、情報共有を行い、ご家族、施設、事業所間で、児童にとってよりよい支援が行えるようにしていきます。
2	訪問支援員は、担当指導員からの相談に対して当日中の対応を心がけており、コミュニケーションが円滑である。	支援員が担当指導員に対して何か共有すべきことがないか尋ねたり、定期的に日頃の報告を行うようにしています。	引き続き、情報共有を行い、児童にとってよりよい支援が行えるようにしていきます。
3	訪問先施設との関係が良好である。	アセスメント時から学校の管理者を交えて時間を作ってもらい、訪問支援に対し、理解を得た上で同じ方向性で支援ができるように話をしています。 また訪問支援時に話す時間を設けたり、訪問時間外で先生方の都合の良い時間に連絡を取るようにし、協力していただいています。	訪問先施設の負担にならないよう、また課題や困り感に対して軽減できるように助言、指導を行なえるスキルを身につけられるように研鑽してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の対応	訪問支援員としての立場で緊急時の対応に対する指揮をどのように行うべきか明確化しづらいです。	非常時の対応フローを検討していきます。
2	教具、教材の提供	交流クラスにおいて、教具や教材の助言を行うことは大変難しい現状です。	必要に応じて、取り入れる教具や教材の説明を十分に行い、納得していただいた上で、訪問先に提供していきます。
3	チームアプローチが難しい	訪問支援員の人数が限られているため、チームアプローチとして不十分な点も多いです。	必要に応じて、多職種連携を取り入れていきます。